

第113回
定時株主総会

2019年 6月27日

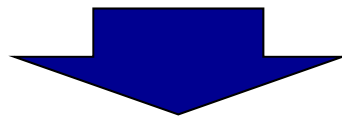
宇部興産株式会社

当社グループの取り組み

2016年度からの3ヶ年中期経営計画 「Change & Challenge 2018」

○ 基本方針

- ・持続的成長を可能にする経営基盤の強化
- ・資源・エネルギー・地球環境問題への対応と貢献



● 各部門の収益力向上を推進

● 各事業課題の解決に向け取り組む

2018年度 当社グループ業績

○化学製品を中心に原燃料価格上昇に応じた販売価格の是正

- ・ 堅調な国内需要を背景とした建設資材製品の販売増加 等

○化学部門：アンモニア工場の定期修理、合成ゴム市況の軟化 等

○石炭価格の上昇



●連結業績：増収減益

●売上高および

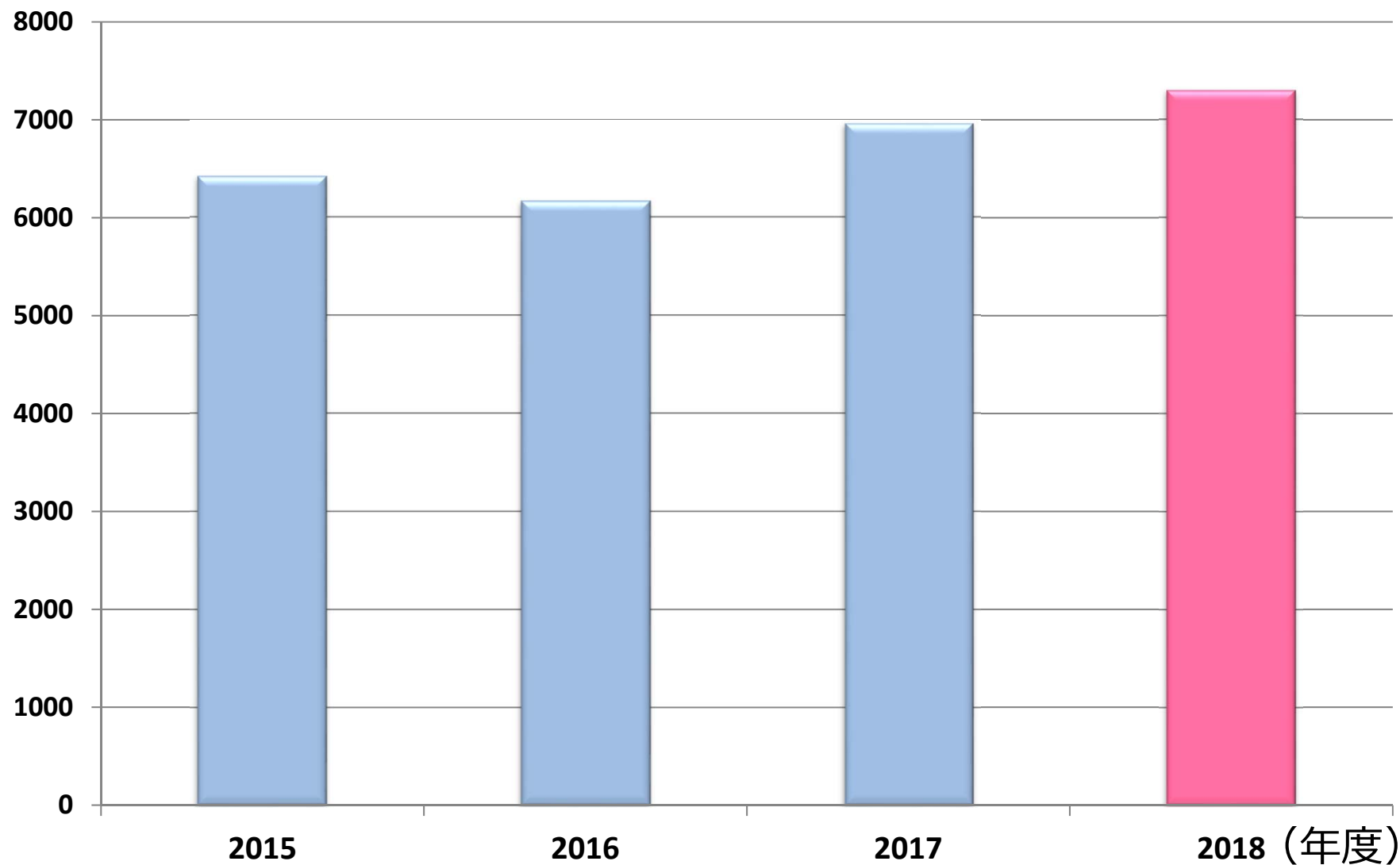
親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高

連結売上高

7,301 億円

前期比：345億円増

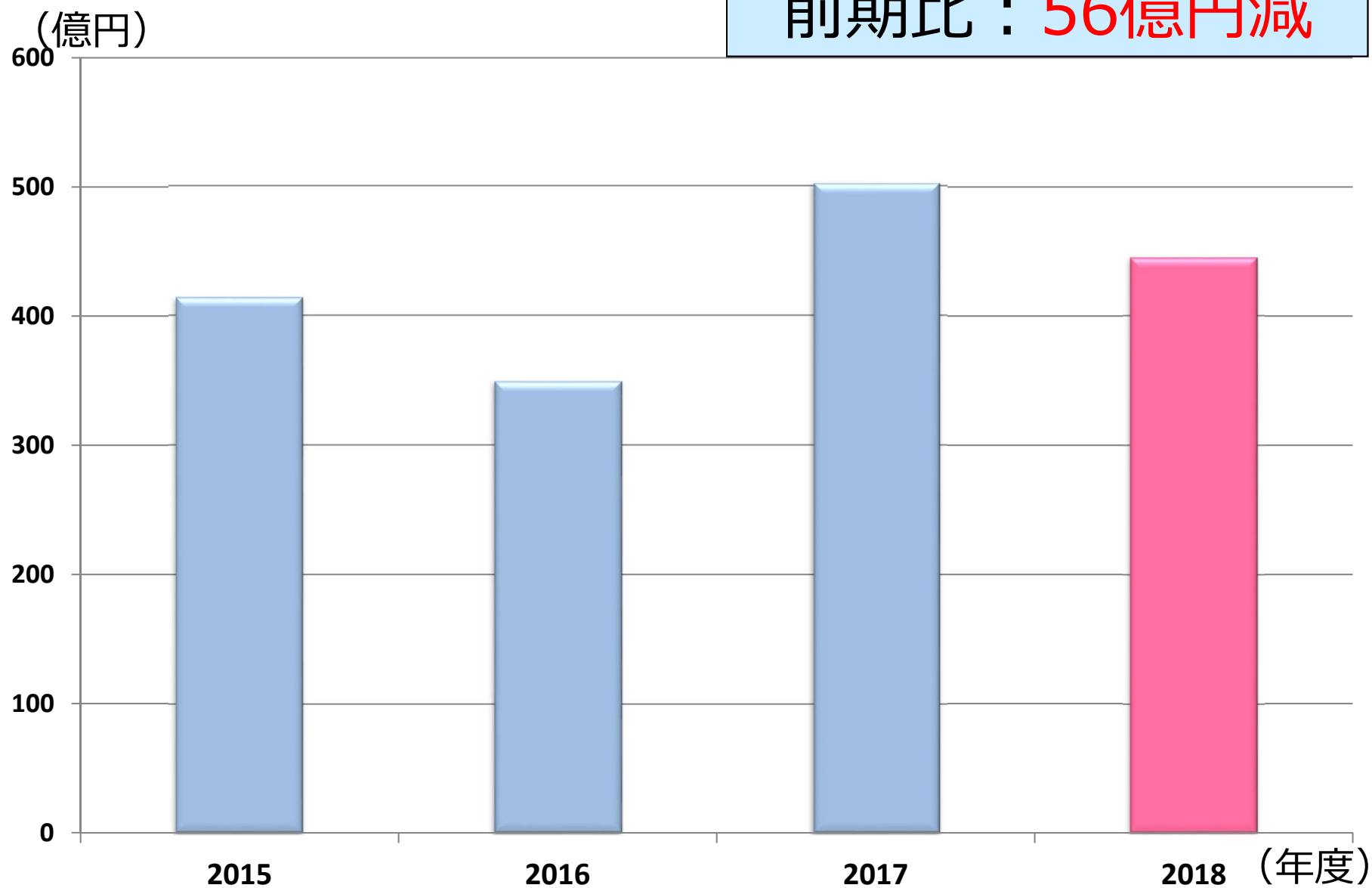
(億円)



連結営業利益

445億円

前期比：56億円減

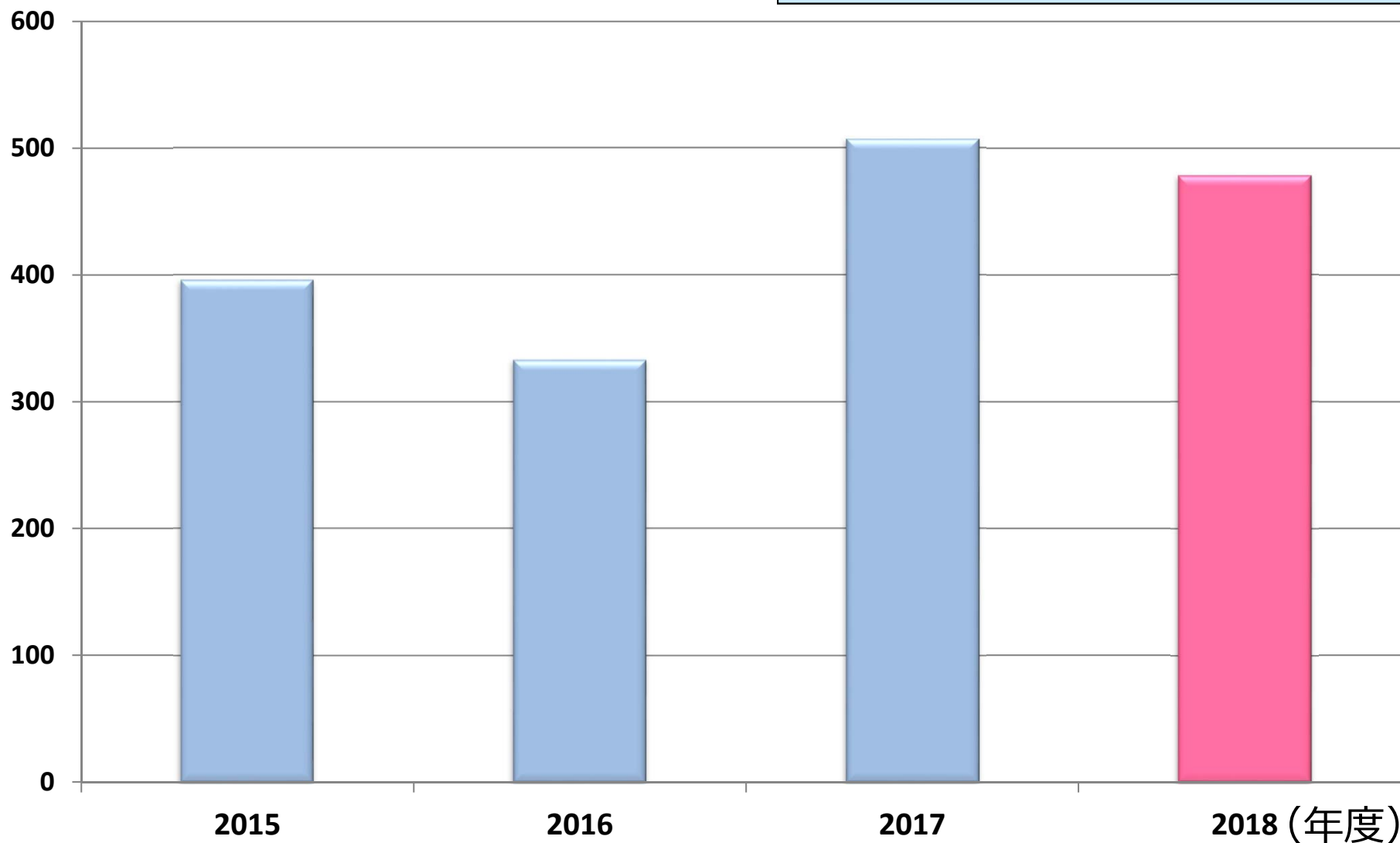


連結経常利益

478億円

前期比：28億円減

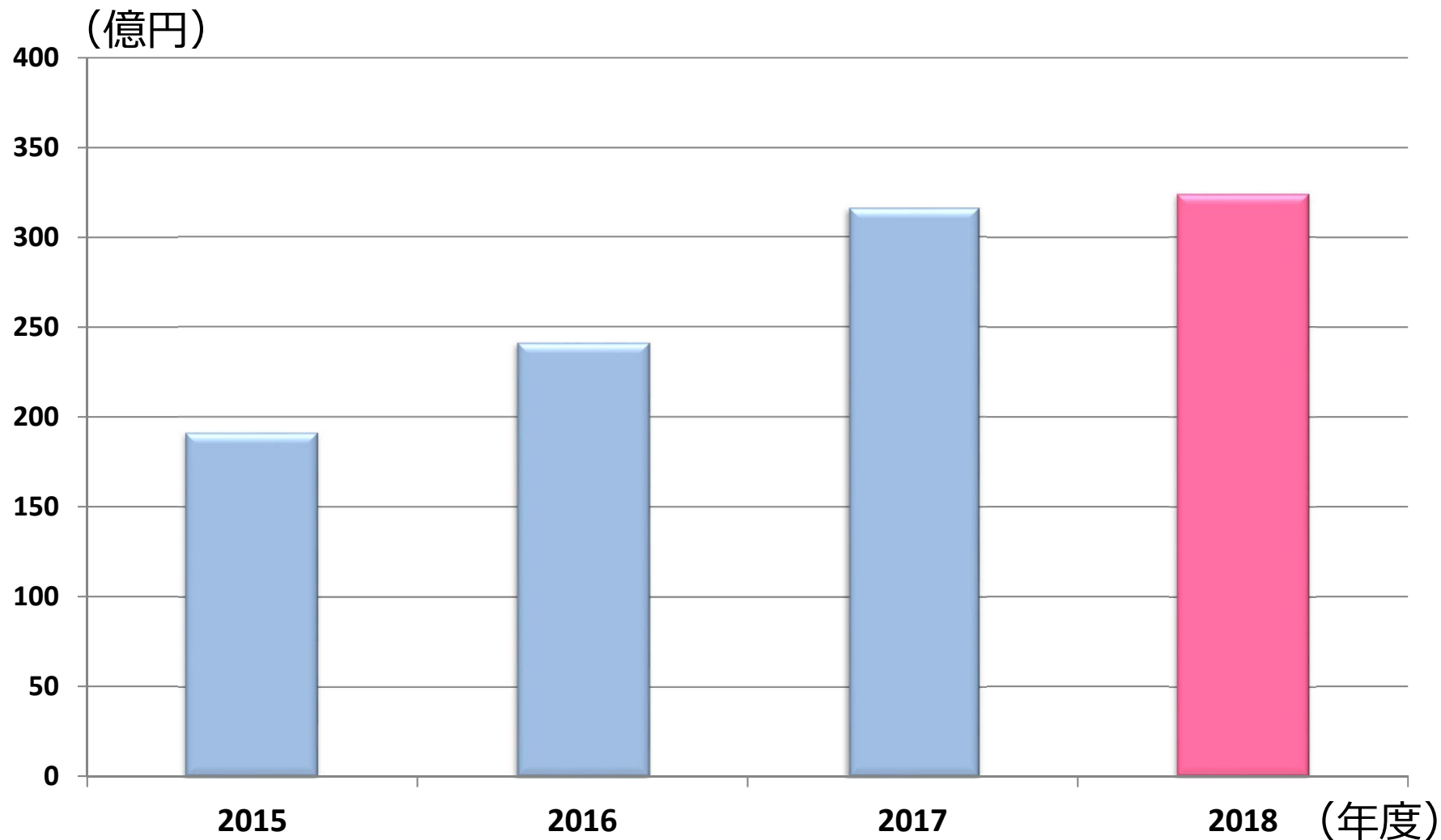
(億円)



親会社株主に帰属する 連結当期純利益

324億円

前期比：8億円増

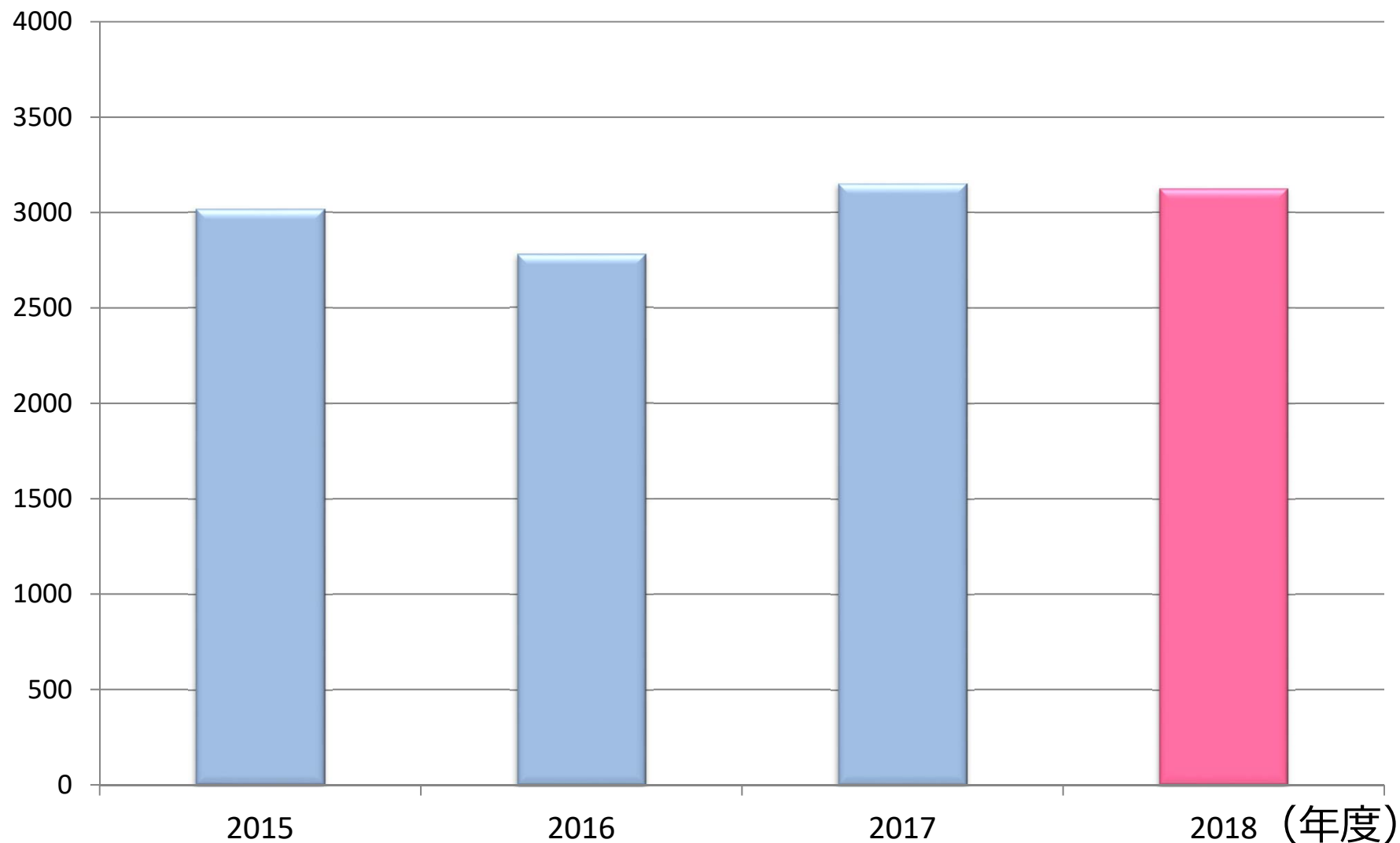


売上高（単独）

(億円)

3,124億円

前期比：27億円減

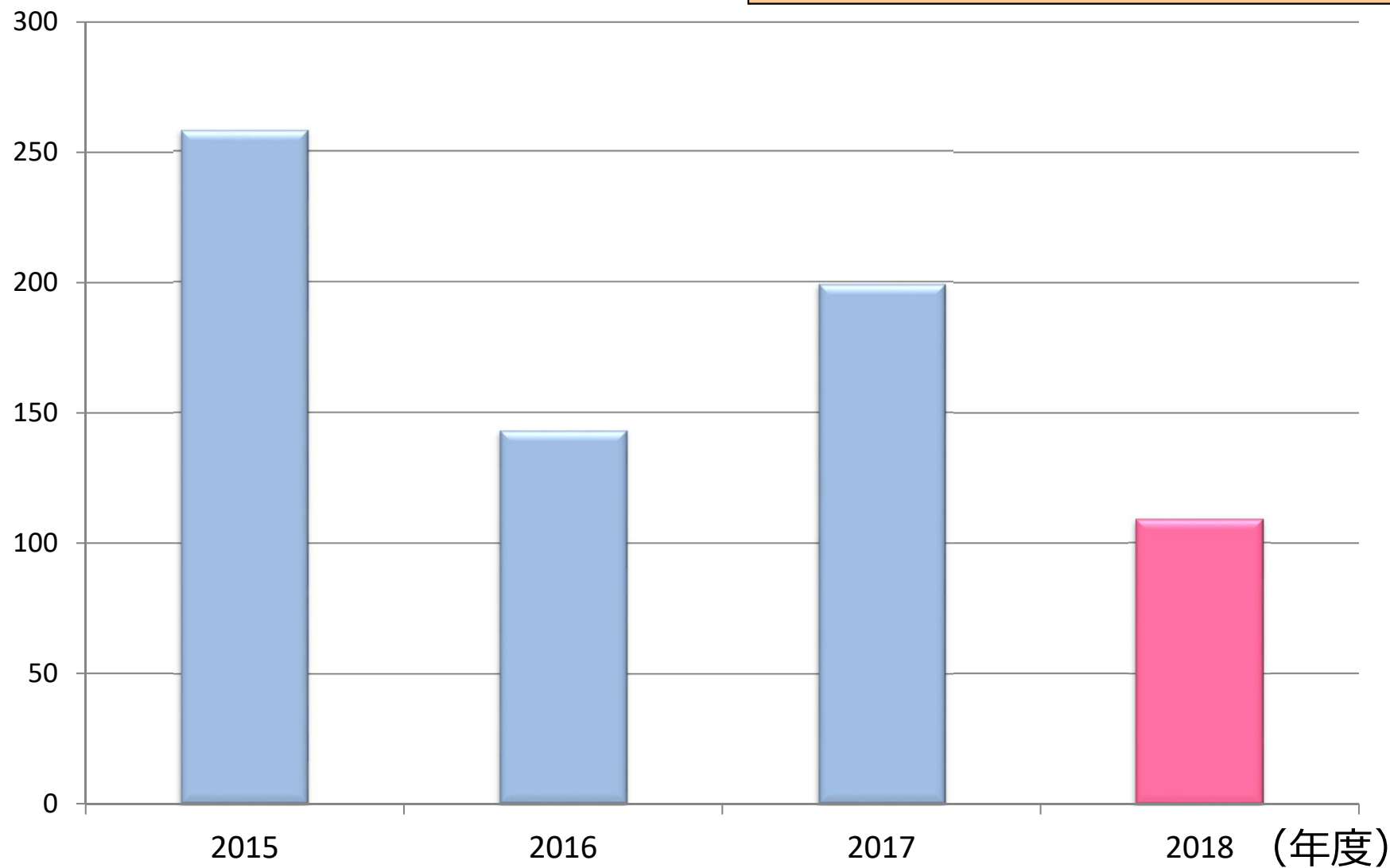


営業利益（单独）

(億円)

108億円

前期比：91億円減

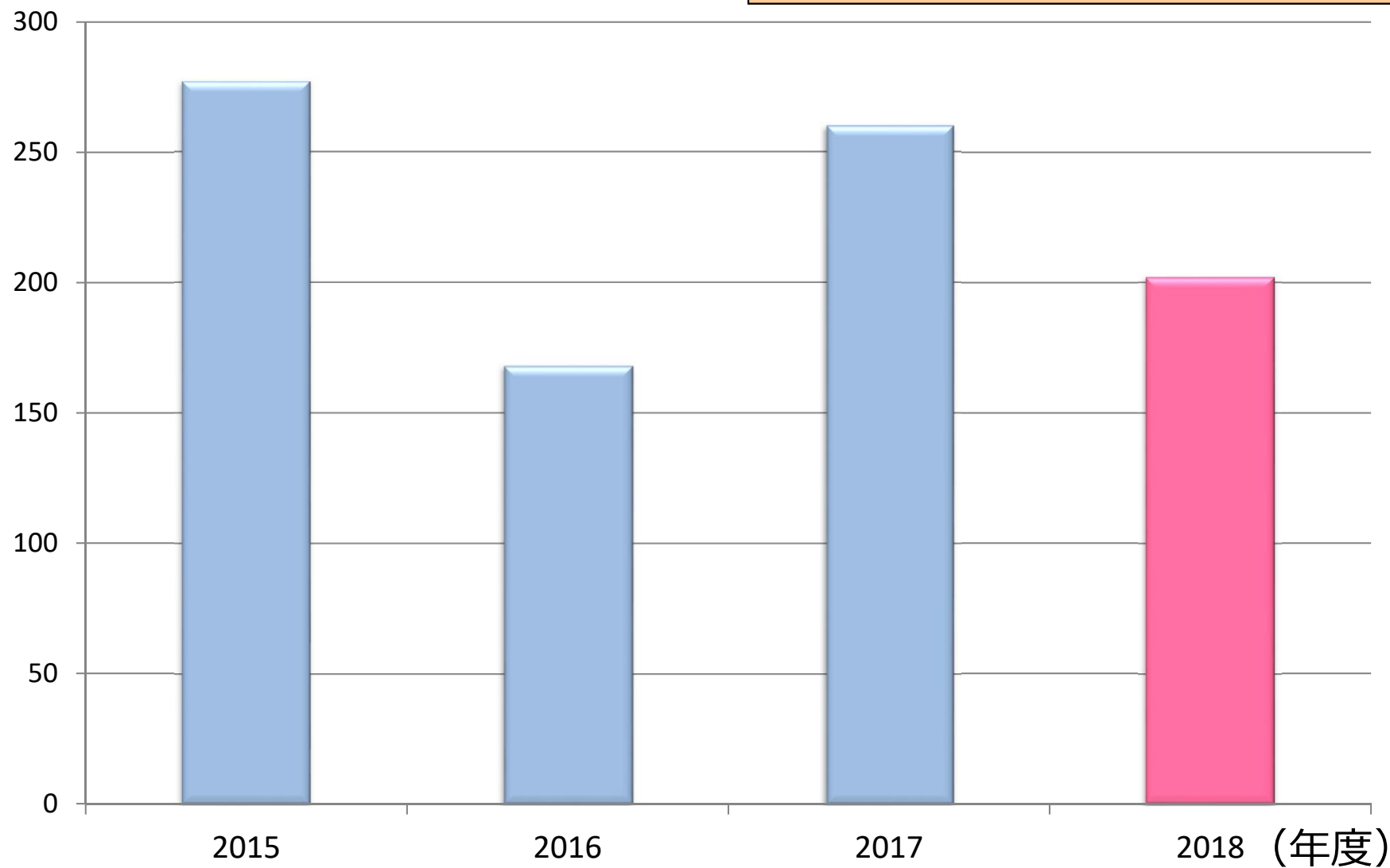


經常利益 (单独)

202億円

前期比：58億円減

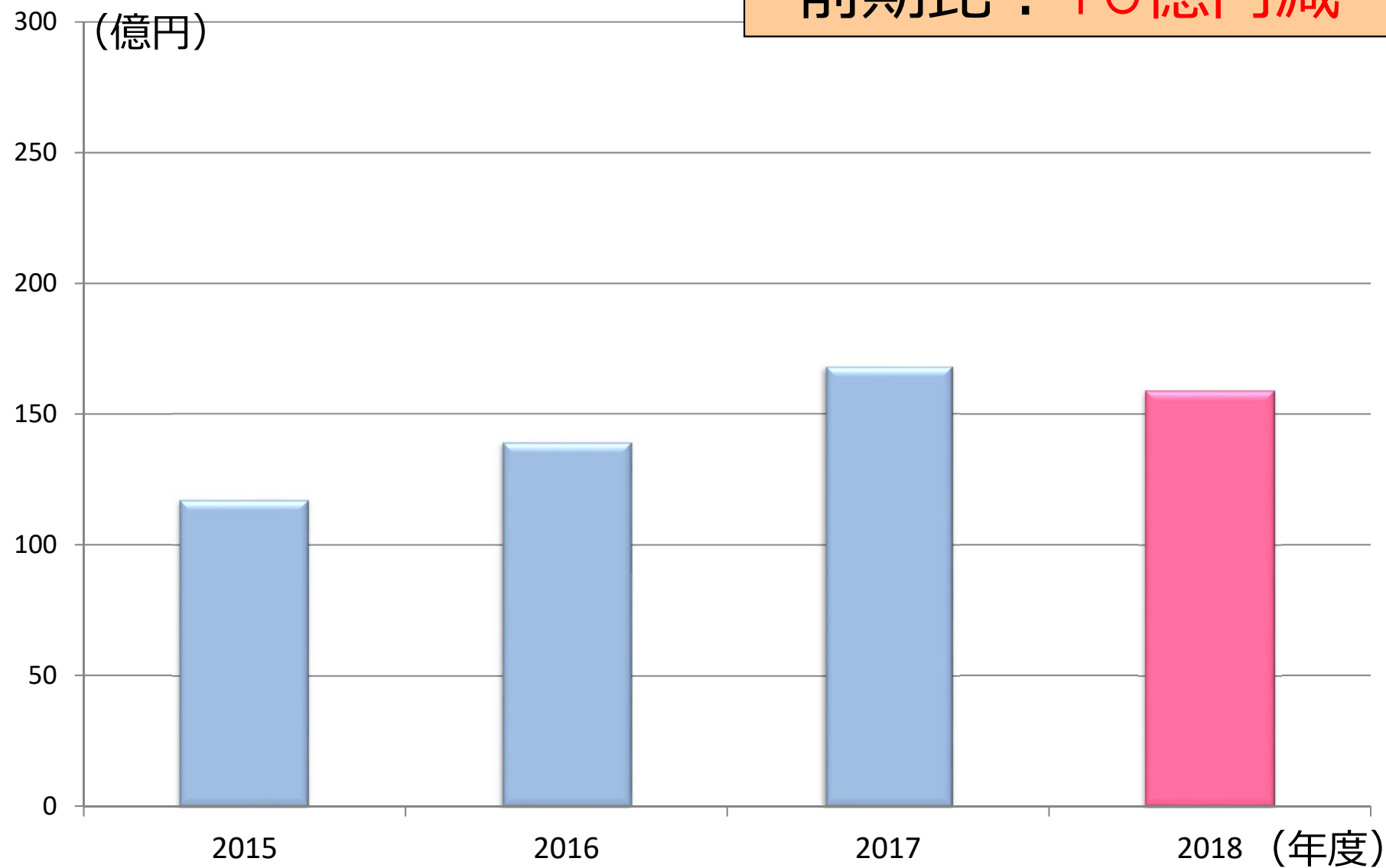
(億円)



当期純利益 (单独)

158億円

前期比：10億円減



化学部門

【主要事業内容】

ナイロン樹脂、カプロラクタム（ナイロン原料）、工業薬品、ポリブタジエン（合成ゴム）、電池材料、ファインケミカル、ポリイミド、機能品等の製造・販売

化学部門



ナイロン樹脂

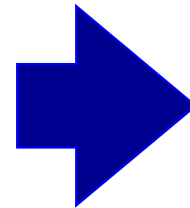
・スペインで
生産能力増強

食品包装フィルム
用途中心に
出荷堅調

化学部門



- ・中国における環境規制等の影響で需給環境が堅調



販売価格是正

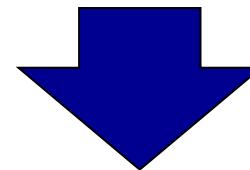
**カプロラクタム
(ナイロン原料)**

化学部門



工業薬品

- ・アンモニア工場の定期修理
- ・その後の生産トラブル



生産・出荷が減少

化学部門



ポリブタジエン
(合成ゴム)

- ・タイヤ用途向けを中心に需要堅調



原料ブタジエン
価格が上昇する
一方で製品価格
が下落

化学部門

リチウムイオン電池材料



セパレータ

- 車載用途で需要拡大
- 堺工場で能力増強

出荷は大幅増加

化学部門



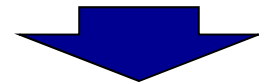
ファインケミカル製品



販売価格是正



ポリイミドフィルム



回路基板向け
中心に出荷増加

化学部門

前期比：95億円増

連結売上高 3,149 億円

前期比：52億円減

連結営業利益 237 億円

医薬部門

【主要事業内容】

医薬品（原体・中間体）の製造・販売

医薬部門



受託医薬品



自社医薬品

販売数量増加

ロイヤリティ収入減

医薬部門

前期比： 0億円減

連結売上高 101 億円

前期比： 12億円減

連結営業利益 8 億円

建設資材部門

【主要事業内容】

セメント、生コン、建材関連製品、石灰石、カルシア・マグネシア、機能性無機材料等の製造・販売

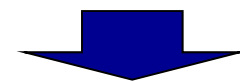
資源リサイクルとしての廃棄物利用

建設資材部門



セメント

生コン製品



国内需要堅調

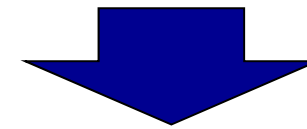
出荷は好調

建設資材部門

マグネシア製品



・需給ひっ迫



販売価格は正
販売数量増加

建設資材部門



**石炭価格上昇の
影響を受ける**

セメント

生コン製品



国内需要堅調

出荷は好調

建設資材部門

前期比：113億円増

連結売上高 2,502億円

前期比：4億円減

連結営業利益 118億円

機械部門

【主要事業内容】

成形機、産業機械（運搬機、粉碎・破砕機）、橋梁・鉄構、製鋼品等の製造・販売

機械部門

成形機
(自動車産業向け)



産業機械
(運搬機 等)



出荷は堅調

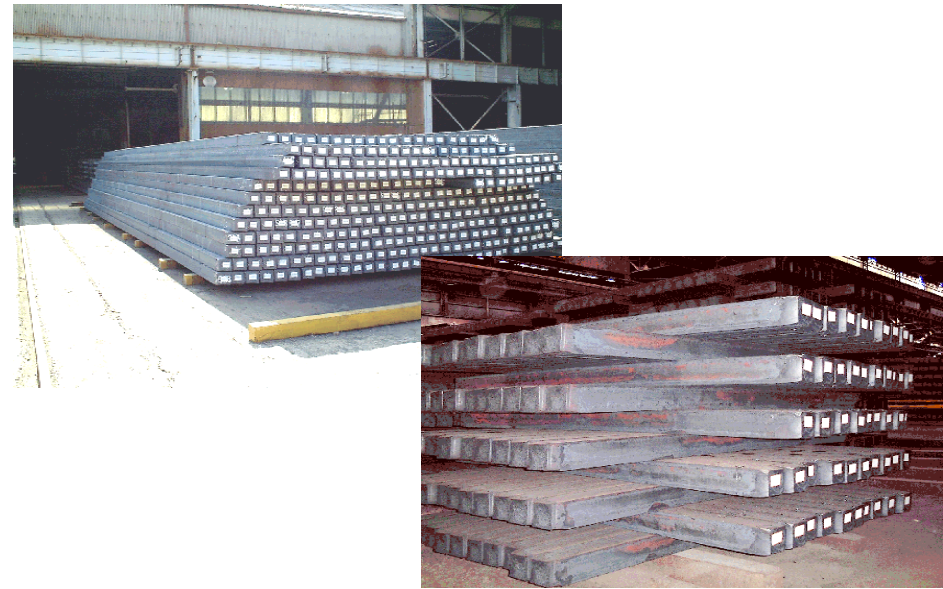
機械部門

製品サービス事業



好調に推移

製鋼品



原材料価格上昇

機械部門

前期比：71億円増

連結売上高 972億円

前期比：1億円減

連結営業利益 54億円

エネルギー・環境部門

【主要事業内容】

石炭の輸入・販売

コールセンター（石炭中継基地）の運営

電力卸供給事業（IPP）を含む電力供給事業

エネルギー・環境部門

石炭事業



【沖の山コールセンター】（石炭中継基地）

販売価格是正

販売数量減少

エネルギー・環境部門

電力事業



【216MW IPP発電所】

**IPP発電所
定期修理ナシ。
電力供給量が増加**

エネルギー・環境部門

前期比：44億円増

連結売上高 758億円

前期比：2億円増

連結営業利益 25億円

その他部門

前期比：1億円増

連結売上高 49億円

前期比：0億円減

連結営業利益 8億円

WBE

資金調達の状況

- ❖ 自己資金
- ❖ 金融機関からの借入金
- ❖ 第15回無担保社債(100億円、2018年11月)

【当期末 連結有利子負債残高】

前期末比 **82億円減**

1,872億円

設備投資等の状況

- ◆ 生産設備の新增設
- ◆ 維持更改
- ◆ 省力化・合理化など

総額：417億円

当期中に完成した主要設備

- セパレータ増産設備

化学部門 / 堺工場 (2018年4月)

- 北米組立工場拡張

機械部門 / アメリカ (2018年10月)

【北米組立工場】



当期に建設中の主要設備

- セパレータ増産設備
(化学部門 / 堺工場)
- 排熱発電設備、廃プラ類処理設備
(建設資材部門 / 伊佐セメント工場)
- 木質バイオマス炭化燃料実証設備
(エネルギー・環境部門 / 宇部)



【木質バイオマスペレット】

❖ 当社グループの現況に関する事項

❖ 当社の株式に関する事項

「招集ご通知」 29～50頁

並びに 当社ホームページ 掲載

連結貸借対照表

(億円)

科 目	金額	科 目	金額
(資産の部)	7,402	(負債の部)	3,857
流動資産	3,156	流動負債	2,260
固定資産	4,244	固定負債	1,596
有形固定資産	3,313	(純資産の部)	3,545
無形固定資産	71	株主資本	3,216
投資その他の資産	860	資本金	584
繰延資産	1	資本剰余金	403
		利益剰余金	2,356
		自己株式	△127
		その他の包括利益累計額	78
		新株予約権	6
		非支配株主持分	244
資産合計	7,402	負債・純資産合計	7,402

連結損益計算書

(億円)

科目	金額
売上高	7,301
売上原価	△6,003
販売費及び一般管理費	△853
営業利益	445
営業外収益	113
営業外費用	△80
経常利益	478
特別利益	8
特別損失	△40
税金等調整前当期純利益	446
法人税、住民税及び事業税等	△104
非支配株主に帰属する当期純利益	△17
親会社株主に帰属する当期純利益	324

品質保証に関する課題

2017年度 品質検査上の不適切行為

具体的な再発防止策を策定

- 経営陣/従業員の意識・組織風土の改革
- 組織再編
- 制度の見直し

品質保証システムの確実な運用と 改善・適正化を継続

➡ グループのガバナンス向上・品質管理体制を一層強化

品質保証に関する課題

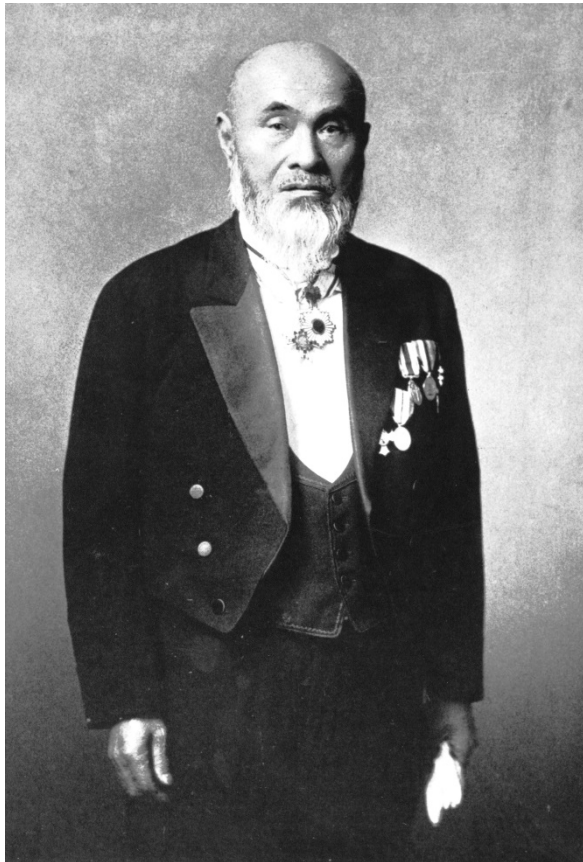
「一部設備トラブルによる重炭安の返品について」

- 重炭酸アンモニウムに金属異物が混入した可能性
があることを公表（2019年3月19日）
- お客様に使用停止と返品のお願い

設備の修繕・検査機器を増強

→ 管理体制の強化を実施済み

創業の精神



「共存同栄」

**「有限の鉱業から
無限の工業へ」**

【渡邊祐策翁】

UBEグループが目指す企業像

2019年4月

● 経営理念・経営方針を刷新

● 「私達の行動指針」を改定

UBEグループが目指す企業像

UBE 経営理念

**「技術の探求と革新の心で、
未来につながる価値を創出し、
社会の発展に貢献します」**

UBEグループが目指す企業像

UBE 経営方針

1. 「倫理」

高い倫理観を保ち、法令および社会規範を遵守します

2. 「安全と安心」

地球環境保全に努め、安全・安心なものづくりを行います

3. 「品質」

お客様と社会の信頼に応える品質をお届けします

4. 「人」

個性と多様性を尊重し、健康で働きやすい職場をつくります

長期ビジョン

2025年のありたい姿と方向性

「Vision UBE 2025」

2021年度までの中期経営計画

**「Vision UBE 2025
～Prime Phase～」**

2025年のありたい姿

「すべてのステークホルダーに価値を創出し続ける企業」

- **市場ニーズの先取り**
- **環境に調和した製品とサービスの創出**
- **グローバルに存在感を発揮**

機構改革

- 3カンパニー・2事業部制
→ 3カンパニー制へ集約
- 監査等委員会設置会社へ移行



自立した事業運営

経営の監督機能強化と迅速な意思決定

新中期経営計画

Vision UBE 2025 ～Prime Phase～

◆ **期間** 2019年度～2021年度

◆ **基本方針**

- i) 事業の成長基盤強化
- ii) 経営基盤（ガバナンス）の強化
- iii) 資源・エネルギー・地球環境問題への対応と貢献

新中期經營計畫

◆ 数值目標（2021年度）

i) 主要項目

- ① 營業利益：550億圓
- ② 經常利益：580億圓

ii) 經營指標

- ① 売上高營業利益率（ROS）：7%
- ② 自己資本利益率（ROE）：10%

新中期経営計画

◆**化学部門**
高付加価値化・グローバル展開を加速

→ **グループ全体の成長をけん引**

◆**建設資材部門/機械部門**
収益基盤を一層強化

↓
持続的成長を目指す

WBE